

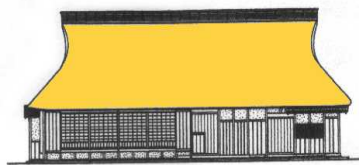
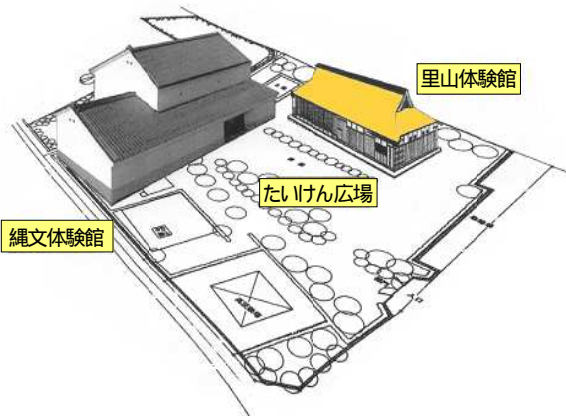
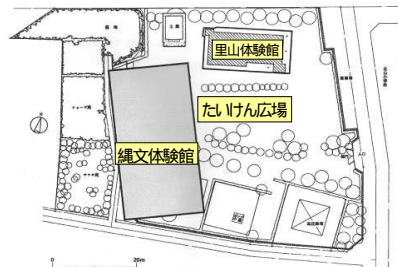
北山風景に「北山たいけん館」構想

遺跡資料館や古民家の再建

完成目指してイメージづくりの年に

野口町3丁目のかやぶき民家の園地（焼失）の遺跡資料館の建設と

かやぶき民家を復元する計画が具体化しており、武蔵野の原風景を再現した里山景観が味わえる八国山緑地の一面に、北

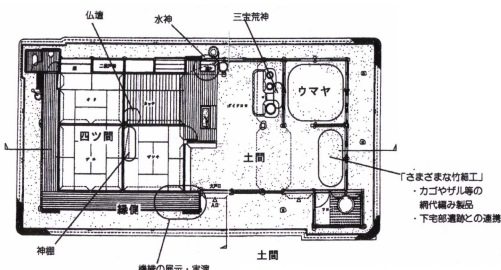


正面



側面

里山体験館



ここ数年、貴重な遺跡として全国に報道された出土品を展示する資料館が建設されますと、縄文人の生活の様子がおしは

下宅部遺跡

出土品を展示

山たいけん館」構想として、北山緑地の自然散策、下宅部遺跡や正福寺地藏堂（国宝）、元弘の板碑（重要文化財・徳蔵寺）などの歴史探訪の折に立ち寄り、格好な場となり、四季折々の「出会い、ふれ合い、憩い」の場として期待されています。

遺跡資料館と古民家の空地を「たいけん広場」として、生涯学習の場として、農具の扱い、民俗的行事の再現など、体験活動の場となります。特に学校の体験学習の場と

たいけん広場

「旧武藤家」のかやぶき民家は、平成11年6月に放火され焼失してしまいました。設計図が残っていますが、その通りに復元でき、往時の農家の生活がしのばれる資料館として、また、年中行事などの体験学習ができる施設としても活用が期待されます。

市有形民俗文化財

かやぶき民家の復元



出土品のひとつ [漆塗注口土器]

かられるめずらしい生活用品や、食料とした木の実等も展示されます。

とが望まれます。そのためには、会員の意見を集約される場が必要です。15年度の事業計画で実現したいと思っております。積極的な参加をお願いします。



焼失した民家再建への説明を聞く

しての活用が望まれます。会員の積極的な活動や意見が、市で策定される基本設計に多く反映されること

市北西部は市民の貴重な財産

なぜ北西部なのですか？

「歴史とロマン」わくわくするまちづくりの運動は、緑の自然に親しみながら歴史のロマンを満喫できる理想郷の実現をはかり、まちを活性化しようとする運動です。

たまたま、市の北西部地区はその条件を整えております。古民家再建と下宅部遺跡資料館が実現すれば、そこが拠点となって市内外の人々が心の安らぎを求めて大勢集まってくることでしょ。

古民家（旧武藤家）はもともと秋津にあったものであり、北山の自然も下宅部遺跡も市民全体の貴重な財産です。この運動は東村山北西部を舞台としませんが、市民全体のための運動だという認識を深めることが大切です。



創意を活かした宣伝を

会員の方々は趣味やスポーツ、あるいはボランティアなど活動領域が広くあると思われる。集会などあった折には本会の宣伝をしていただき、会員を増やしていただければ幸いです。会の規約や広報紙はふるさと歴史館に置いてあります。

会費納入のお願い

平成15年度の会費納入をお願いいたします。最寄り（関係の）役員さんにお渡しただければ、おたがいの機会がない場合は、尋ねてください。

電話 396・3800